

平成23年度 第3回

公益社団法人 地盤工学会
出版企画委員会
議事録

| | | | | | |
|------------------------------|---|------------|-----------------|------------|---|
| 日 時：平成23年8月26日（金）15：00～17：30 | | | 会 場：地盤工学会地階B会議室 | | |
| 委員長 荒瀬 義則 | ○ | 幹事長 楡井 一昭 | ○ | 幹 事 橋 伸也 | ○ |
| 幹 事 仲山 貴司 | ○ | 委 員 土屋 光弘 | × | 委 員 細野 康代 | × |
| 委 員 山本 正彦 | × | 委 員 深田 久 | ○ | 委 員 福村 一成 | ○ |
| 委 員 小川 鉄平 | ○ | 委 員 和田 健一 | ○ | 委 員 森口 周二 | ○ |
| 委 員 杉本 映瑚 | ○ | 委 員 中井 宏 | △ | ワザパー 李 圭太 | × |
| ワザパー 清木 隆文 | × | ワザパー 川井 康右 | × | ワザパー 高橋 直樹 | × |
| ワザパー 岩波 基 | × | 事務局 永田 満枝 | ○ | | |

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……和田が指名された。
2. 前回議事録(6/3)の確認……(別紙-2)
 - ・承認された。
3. 前回事業部会(6/16)報告……(別紙-3)
 - ・荒瀬委員長より報告された。
 - ・模型実験講習会において既刊本「模型実験入門」をテキストとして使用することから、割引販売について検討依頼があった。
→メール審議を踏まえ、割引価格で提供して講習会参加者に販売する(案①)、書籍は参加者に無償で配布し書籍代を参加費に含める(案②)のどちらでも可とした。
4. 理事会(6/24・7/29)報告……(別紙-4)
 - ・荒瀬委員長より報告された。
5. 事業部関係収支報告……(別紙-5)(添付資料-1)
 - ・事務局永田様より、平成23年7月までの単行本販売収入について説明があった。
 - ・4月は教科書としての販売があり例年並みであったが、新刊本の発刊がなかったこともあり、5月以降は販売収入が落ち込んでいる。秋に発刊予定の新刊本の販売方法を工夫することが重要になる。(委員長)
6. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(別紙-6)(添付資料-2)
 - ・事業部出版物の大幅な遅延現行防止等に関する内規(参考資料1)について、説明があった。
 - ・「都市の地盤」、「シールド工法」、「土の締固め」、「山留めにおける創意・工夫Q&A」は、平成23年度中に出版の見込みである。
 - ・「性能設計」は、“これからの課題”の部分の原稿執筆が大幅に遅れ、出版は翌年度になる見込みである。ある程度の見通しはあるので、処置は委員長、幹事に一任する。
7. その他……(別紙-7)
 - ・東日本大震災による被災商品の返品についてのお願ひ(丸善出版(株))について、事務局永田様から説明があった。
→被災商品の部数が少ないこと、災害であることを考慮して、返品扱いとし、委員長が事業部に報告して会計上の扱いを決定することとした。
 - ・平成24年度予算(案)は、委員長が事業部長と調整することとした。

《審議事項》

1. 各WGの進捗状況と課題
 - 出版企画WG
 - 1) 「書籍の訂正とお詫び」に関する細則(案)……(別紙-8)
 - ・橋幹事より、細則(案)の説明があった。

- ・以下の修正を行ったうえで、委員長が事業部会(9/1)に報告し、その後の扱いを決めることとした。
 - 「2. 対応の流れ」の3行目“例えば”を削除する。
 - 「例文」について、各々、誰が対応するかを明記する。
 - 「対応フロー」の“執筆者あるいは編集委員会委員長”は“編集委員会委員長”とし、編集委員会委員長が執筆者に連絡する流れとする。
 - 「文例4」の最終行の誤植(“暖かい” → “温かい”)
- 2) 来年度の出版企画について……(別紙-9)
 - ・土木学会の出版企画書・販売促進計画書(別紙-9)について、事務局永田様より説明があった。
 - 土木学会の出版企画書を参考にして、地盤工学会の委員会や学会員からのニーズを拾い上げるための案をWGで作成する。
 - ・電子出版(新刊、増刷)における著作権について、他の事例等を検討し、著作権譲渡承諾の案文を作成して次回審議する。
 - ・3~4冊/年の新刊を確保するために、次年度以降の新企画の準備をWGで進める。
 - ①地盤材料関係、②杭基礎のトラブル関係、③地盤環境の影響評価技術入門、④数値解析入門、⑤地盤工学を築いた人々の予定がある。
 - 技術普及委員会からは、地盤に関する解析技術(個別要素法、粒子法)の提案がある。
 - ・「地盤のはなし」は、細野委員が対応する予定である。
 - ・「子供向けの本」は、取扱い、進め方について荒瀬委員長が古屋編集委員長と協議して次回報告する。

■販売促進WG

- 1) 「セット de お得」キャンペーンの目標達成方策……(別紙-10)
 - ・趣旨、内容、平成22年度のフィードバック、積極的な販売の方策について、仲山幹事から説明があった。
 - ・HPでのわかりやすい表示等について検討する。
 - 広報委員会では、バーナーで出すことを検討中
 - 広報委員会に依頼して定期的にメールを配信する案
 - ショッピングカートに割引金額が表示されないことに対する対応(現状は求めに応じて事務局が個別対応)
 - ・「セット de お得」は理事会で、恒久的な継続が承認されているが、本年度の運用方法が決定していないので、4月以降は実施していない。本年度は、昨年セットのままキャンペーンとして継続し、早急に開始する。
 - 9月の事業部会で承認を得るための資料を作成する。
 - ・恒久的な実施に向けて、本年度のキャンペーンでのデータも加味して、目標、セットの組み方、価格等について検討する。
 - 金額目標は収入確保、冊数目標は在庫削減の指標になる。
 - 目標設定等のために、在庫確認を行う。
- 2) 出版後の訂正方法について……(別紙-11)
 - ・趣旨、現状の訂正方法等について、仲山幹事から説明があった。
 - ・HPでの正誤表の掲載方法については、修正は行わないこととする。
 - ・増刷・改訂時の訂正方法をまとめた規約については、今後検討する。
2. 既刊本の増刷について……(別紙-12)
 - ・講習会での使用が見込まれる「はじめて学ぶ土壌地下水汚染」は、500部増刷する。
 - ・在庫が一定量になった時の対応(増刷、改訂、絶版)を判定する方法を検討する。
 - 検討に際しては、過去の議事録(検討状況)を確認する。
 - ・当面検討が必要な(在庫が少ない)書籍を抽出する。
3. 地盤工学 発展史・人物史について……(別紙-13)
 - ・準備委員会の立上げに向けた動きと今後の予定について、荒瀬委員長から説明があった。
 - ・次回委員会において、出版企画委員会からのサポートを検討する。
4. その他
 - ・(今後の理事会日程(別紙-14))
 - ・次回委員会は、10月21日(金)15:00~17:30を予定する。